

国際交流 NEWS

Vol.15 2026

行きました！

国際交流 NEWS 第 15 号

- 1 2025 年度 海外研修
- 2 2025,2026 年度 学生受入
- 3 個人留学・グローバルカフェ

ベトナム 2026 2/25-3/6 全学科

4 学科から 14 名の学生が、10 日間のベトナム研修に参加しました。研修では、提携校のホーチミン医科薬科大学や大学病院、福祉施設、製薬会社、戦争証跡博物館、小学校などを訪問し、ベトナムの医療・福祉・教育について深く学ぶことが出来ました。また、ベトナムの学生との交流では、温かく迎えていただき、多くの思い出をつくることができました。毎晩のようにおすすめの飲食店やショッ



ピングモールへ案内してもらい、フォーやブンポー、パインセオ、ココナッツなど、ベトナムならではの料理を堪能しました。メコンデルタツアーでは、船でメコン川を渡ったり、首に蛇を巻いたり、普段なかなかできない貴重な体験をし、さらに、民族衣装のアオザイを着たり、お寺でのお参りの作法を教してもらったりするなど、ベトナムの文化にも触



れることができました。国を超えて友人ができたことはとても嬉しく、帰国の際には別れが寂しく感じられるほど充実した時間を過ごしました。今回の研修を通して、異文化やさまざまな価値観に触れる楽しさ、多様な視点を持つことの大切さを実感しました。視野を広げることができた、非常に貴重な経験となりました！！

社会福祉学科 4 年 学生

タイ 3/21-29 看護学科

今回のタイ研修では、病院見学や文化体験、現地学生との交流などの活動を行いました。特に印象に残ったのは、病院で看護学生



が医療行為を行っていたことです。日本では、看護師の資格を取得してからしかできない注射や採血など、実践的な経験を積んで、責任を持って患者さんと関わっている姿が印象的でした。また、タイでは看護師の役割が広く、助産師のような業務や妊婦の縫合まで担うことに驚きました。その他、現地学生や先生方が日本のアニメなどに詳しく、親しみを持ってくれていたことも嬉しく感じました。今回の研修を通して、看護は国の文化や医療環境によって異なり、相手を理解し柔軟に対応することの大切さを学びました。



看護学科 2 年 学生

発行：国際交流センター 【Center of International Affairs】 2026. 6. 30

9 号館 1F tel/fax : 027-352-7006 e-mail : uhw-kokusai@takasaki-u. ac. jp

来ました！

ドイツ 理学療法学科 フレセニウス大学より学生受入 3/20-28



ドイツ学生の受け入れプログラムに参加した。ドイツ学生が最初に衝撃を受けていたのは「ブラックサンダー」だ。日本の超人気菓子の美味しさは万国共通だったようでほとんどのドイツ学生がお土産として購入していった。クレーンゲームに連れて行った際には日用品から雑貨まで沢山の物が景品になっていることに驚いていた。また、あるドイツ学生は魚が食べられないようで、回転寿司では、ネタなしで握りを食べていた。さび抜きは見たことがあるがネタ抜きを見たのは初めてだ(笑)。その他、日本舞踊と一緒に体験した際には初めて着る浴衣や足袋に苦戦していたが、かくいう自分も初めてで、とても貴重な体験になった。海外研修や受け入れに興味があっても英語が苦手だからと断念する人がたくさんいるように思う。しかし実際は英語が完璧ではなくても何とかかなり、ジェスチャーや簡単な英単語で会話が成り立つことを実感した。他国の方々と接することで自分の考え方や価値観が変わることがたくさんある。これからの人生にプラスになることばかりだ。海外研修や受け入れに少しでも興味がある人は絶対にチャレンジすべきだと思う。



理学療法学科 3年 学生

ドイツ 子ども教育学科 ランダウ大学より学生受入 4/20-5/1



4月にドイツのランダウ大学の学生を受け入れ、ホームステイを通して交流を行いました。初めての受け入れだったため不安もありましたが、一緒に生活する中で少しずつ打ち解けることができました。交流期間中は、書道やだるまの絵付けなど日本文化を体験しました。これらはドイツの学生にとって新鮮な経験だっただけでなく、私自身にとっても新たな発見のある貴重な時間となりました。また、夜には家族と一緒にウイスキーを飲みながら話をしたり、歌を歌ったりして楽しい時間を過ごしました。気が付けば家族の輪に自然と溶け込み、本当の兄弟のような存在になっていました。別れの日には、お互いに涙を流しながら別れを惜しみました。短い期間でしたが深い絆が生まれ、今でも彼は私にとって「ドイツのお兄ちゃん」のような大切な存在です。最後の夜には、家族みんなで「カントリー・ロード (Take Me Home, Country Roads)」を歌いました。その時間は、国や言葉の違いを超えて心がつながったことを実感できる特別なひとときであり、私の人生の中でも忘れることのできない大切な思い出となっています。今回の交流を通して、自分の世界が大きく広がり、国際交流の素晴らしさを改めて実感しました。次はドイツに行くぞ！！！！ 子ども教育学科 3年 学生



個人留学しました！

＊下記2名はぐんま赤尾奨学財団より奨学金を得て留学しました。

フィンランド 2025 8/13-12/27

フィンランドの大学への留学中、専門であるデータサイエンスの授業を受講しました。すべて英語で行われる講義は内容を理解するだけで必死でしたが、毎日予習復習を徹底して知識を吸収していくプロセスは大きな自信になりました。また、現地の文化に深く触れたことも大切な思い出です。12月には本場のクリスマスマーケットを訪れ、ホットワインなどを飲みながら伝統的なクリスマスを楽しみました。さらに、サウナの後に冷たい湖



へ飛び込むフィンランドならで

はの体験など、毎日が刺激の連続でした。最初は不安ばかりでしたが、勇気を出して新しい環境に飛び込めば、温かく受け入れてくれる人がたくさんいることを肌で学びました。この経験を通じて世界中に友人ができ、視野が大きく広がったと感じています。

医療情報学科4年 学生



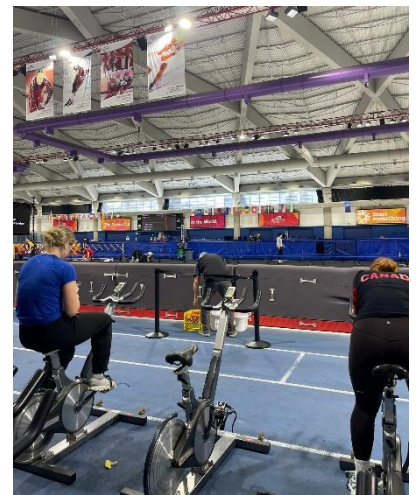
カナダ 2026 2/14-4/13



私は2か月間、カナダ・カルガリーでスケートと語学留学を行いました。現地では、空気のきれいさや豊かな自然、美味しいホームステイ先の食事のおかげで、日本にいる時よりもすっごく調子が良かったです。留学中は、語学学校とスピードスケートのトレーニングに励みました。授業後の練習はハードでしたが、世界最高峰といわれるリンクで練習し、試合にも出場することができ、久しぶりに楽しくスケートをすることができて幸せでした。そして、この留学では「心が動く出逢い」をたくさん経験しました。特に、語学学校で出逢った友達は、みんな目が輝いていて、一緒にカフェで夢を語り合った

時間や、一緒に遊んだ時間は私の人生において宝物です。この留学で得た経験を、成長の糧にして、これからもいろんなことにチャレンジしていきます！☆

子ども教育学科 4年 学生



グローバルカフェ!

1週間に1回行われているグローバルカフェは、外国人ゲストと英語を使ってコミュニケーションをとる会です。学科学年を問わず、だれでも参加できること、授業ではなく、ゲームなどを英会話で楽しみながら時間を過ごせることが特徴です。前期は、短期の留学生も加わり、イタリア人、アイルランド人、アメリカ人、タイ人とゲストも豊富で、とてもにぎやかですよ! 皆さんどうぞ気軽に参加してください!



グローバルカフェ特別編!

Kevinさんと写真コラージュワークショップ! 6/26

写真や文字を自由に切り貼りして、一つの作品を作る「写真コラージュ」に挑戦! イギリス出身のアーティスト Kevin さんの英語での説明を聞きながら、みんなで楽しく制作しました。まずは自分で選んだ写真や文字を A3 用紙に 1 枚貼り、お隣の人へパス! 受け取った作品にさらに 1 枚加えてまたお隣へ…。これを繰り返すので、「どんな作品に仕上がるんだろう?」とワクワクドキドキ! 最後は英語でタイトルを付けて、それぞれの作品をみんなに紹介しました。今回は地域の方や小学生にもご参加いただき、学生や教職員と一緒に世代を超えた交流を楽しみました。笑顔と笑い声があふれ、温かい雰囲気ワークショップとなりました。

Thank you Kevin さん ❤️

